

観光情報

ツアー名	ミトージャングルクルーズ
場所	ベトナム南部のメコンデルタ地帯/ ホーチミン市より車で約1時間半

コメント

メコン川は中国チベット地区を源流にラオス、ミャンマー、タイ、カンボジア流れ、最後にベトナム南部へ到達する、全長4000kmもの大河で、世界的に見ても12番目の長さ。最下流域であるベトナムでは、長い年月をかけて築かれた肥沃な湿潤地帯、メコン・デルタが形成され大河がもたらした豊かな恵みを、人々は遙か昔からいただけてきました。この地域はアジア最大の穀倉地帯としても知られ、ベトナムの経済にとって欠かせない地域でもあります。メコン川の河口周辺にはいくつもの街が発展し、これらの街では支流や水路を縦横に巡らせて、大河の河口ならではの独特の生活、文化を育んでいます。

ミトージャングルクルーズ観光では、地元で根付いた産業や生活、食事などを体験できる内容で構成されています。短い時間の船旅でも、大河の魅力を存分に感じられるのがコースの魅力です。

近年脚光を浴びているココナツ製品。旅程中の「トイソン島」では、キャンディーをはじめ石鹸やオイルやリップクリームなど、お土産に最適なものが販売されています。

ホテルを出発しメコンデルタ二番目の都市ミトー市へ（第一の都市はカンター市）。専用車を下車、大型モーター付き船へ乗り換え、中洲の島「トイソン島」へ。この島の産業を巡ります。



島に上陸後、ココナツキャンディー工房、フルーツ農園、養蜂場などを巡ります。道中、珍しい果物の木も。



養蜂場では蛇やハチの巣を触る体験ができます。地元でとれたての蜂蜜を用いて、竜眼の花粉と金柑の果汁をお茶で割って楽しめます。季節のフルーツを堪能しながら民族音楽鑑賞です。



島での生活や産業を巡った後は、メインの「ジャングルクルーズ」。手漕ぎボートに乗って、ベトナム管笠「ノンラ」を被り、ニッパヤシに囲まれた水路を巡ります（約15分）。



手漕ぎボートを降り、往路のモーター付きボートでミトー市へ。船着き場に到着後、ご昼食レストランへ。メコンデルタ名物料理の数々をお楽しみください。

 <p>【エレファントフィッシュフライ】 メコンデルタ地域でよく食べられている象耳魚。その姿が象の耳に似ていることから呼ばれています。肥沃なメコン川で養殖された新鮮な魚を素揚げ。身をほぐし、ライスペーパーに巻き、魚醤ペースのたれにつけて食べます。メコンデルタ名物のいちおしメニューです。</p>	 <p>【揚げ餅ボール】 こちらもメコンデルタ名物の揚げ餅。写真だとわかりづらいが、大きさは人の顔ほどである。風船のように中身は空洞。ハサミで割って切って食べる。サクサクとおいしい。レストランでは実演を見学することもできます。</p>	 <p>【手長海老】 メコンデルタで養殖されている手長海老。新鮮なとれたての海老を生きたまま調理するので、なお一層おいしく仕上がります。一番の美味は胴体と頭のつなぎ目。たいいのレストランでは、スタッフの方が頭を取り皮をむいてくれます。ベトナム式のサービスです。</p>
--	---	--

【メコンデルタ ミトージャングルクルーズコースマスター例】

- 08:00 ホーチミン市内のホテル出発
- 09:40 ミトー市の船着き場に到着、モーターボートに乗り換え
- 10:00-11:00 中洲の島 トイソン島に到着。島巡り
- 11:00-11:15 手漕ぎボート体験
- 11:15-11:35 モーターボートでミトー市へ
- 11:40-12:00 ミトー市着後、専用車で昼食へ
- 12:15-13:30 メコンデルタ名物料理ご昼食
- 13:30-15:10 ホーチミンへ

【フーティウ】
数あるベトナム名物麺、南部を代表するフーティウ。豚骨ベースのスープに細麺が合います。